

別子校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時	平成30年7月25日（水）19:00～20:50
場 所	別子山公民館
司会・進行	伊藤連合自治会長
参加者数	男 47人 女 4人 合計 51人



1. 市の重点事業に関する質問

質疑応答（要約） 特になし

2. 連合自治会共通の市政課題

質疑応答（要約）

（西部自治会）

別子山西部集会所の避難所が指定ではなくなっている。

- ・いつから避難所ではないのか、理由について。
- ・避難所で無くなったときに地元への説明がなかった。
- ・他の避難所は距離があるが、どこに避難したらいいのか。
- ・現在避難案内の看板では西部集会所が避難所になっている。（支所前・公民館前）

（市民部長）

平成26年4月に災害対策基本法の改正が施行され、改正前に「収容施設」として位置づけられていた別子山西部集会所を、新たに「指定避難所」とする際に、当該施設については、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に立地しており、建物が破壊され、住民に大きな被害が生じる恐れがあったことから、除外した。

地域住民に対する説明は、平成26年7月15日に開催されたまちづくり校区懇談

会の中で説明している。

避難場所案内図に西部集会所が表示されたままになっていることについては、お詫び申し上げ、表示から消すよう対応する。

緊急避難場所は、別子小中学校、別子山公民館、福祉センター別子山分館、中部集会所、東部集会所、大成集会所、別子山市民運動公園になります。避難できる避難所を自ら確認し、避難してほしい。なお、特に大雨が予想される場合は、早めの避難を心がけてほしい。

(大成自治会)

先日、別子山にも避難勧告が出たと思うが、その際の避難体制について、教えていただきたい。

(市民部長)

別子校区においては、避難対象世帯が3世帯となっており、2世帯の方は、事前に安全なところに移動されていた。残る1世帯の方には、避難を促したが、避難所には来られなかった。なお、いつ来られても良いように、避難所である公民館には、職員を配置し準備を整えていた。

(連合自治会長)

立志寮の管理人として、防災無線がないので要望したところ、設置されることになった。これからは、住民の方や行政の防災に対する意識を向上させていきたいと思っている。

3. 校区課題

課題名 (別子山支所の移転について)

質疑応答 (要約)

(経済部長)

新居浜市公共施設再編計画にあるように、公共施設の複合化、集約化等の今後の基本方針に基づき、現在、別子山支所を保土野地区の公共施設へ複合化・集約化する「小さな拠点づくり」として、平成31年度末を目標に検討を進めている。

複合化を検討する公共施設としては、ふるさと館の資料展示室2階部分を支所の移転、複合化施設として検討している。

なお、現在展示している、ふるさと館の2階部分の資料については、資料展示室1階へ移動することとし、また、現在、喫茶、食堂として運営している東側部分については、引き続き、現状のまま使用することを考えている。

また、現在の別子山支所がある、別子山西部地域については、住民サービスが低下しないよう一定の配慮をしたいと考えている。

今後、市の施設保有量の適正化や既存施設の有効活用等が基本となるが、これらの点を踏まうえで、地域としてご意見等があれば、お寄せいただきたい。

なお、西部自治会については、改めて説明会を開催したいと考えている。

(中部自治会)

支所が移転してしまうと、西部地区が寂れてしまうのではないかと心配する。跡地利用については、何か考えているのか。

(経済部長)

今後の利活用については、県道拡幅工事との関りもあるが、未定となっている。当面は、公文書も多くあることから、書庫として使用することを考えている。

課題名 (別子山地域内の市道の側溝の清掃等について)

質疑応答 (要約)

(大成自治会)

別子山地域内の側溝の清掃を度々お願いしているが、一部しか行われておらず、目立った改善がない。落ち葉や土砂が堆積し、水があふれている箇所も多く残っており、とても醜い状態であるので、対応をお願いしたい。また、市道陰地線等の側溝の清掃は、年に一度位お願いしたい。

(建設部長)

市道の全路線について、一度に対応することは予算の関係もあり難しく、年間100m程度しか実施できない。予算が無いからしなくて良いわけではないので、限られた予算の中で、優先度の高いところから実施したいと思う。

(東部自治会)

側溝が詰まると水がオーバーし、道路を横断するため、路肩等の崩壊の恐れがある。

(建設部長)

地元の方の協力を得て実施するなどの方法についても検討したい。管理責任は明確にしながらい進めていきたい。

課題名 (筏津山荘跡地整備計画について)

質疑応答 (要約)

(西部自治会)

筏津山荘跡地整備計画の状況について

- ・計画の進捗状況及び今後の予定を具体的に教えて欲しい。
- ・昨年度別子地域でアンケートを取ったが、アンケート結果を踏まえた説明をして欲しい。
- ・地域の要望、意見を十分聞き、計画を立てて欲しい。

(経済部長)

要望のあった具体的な施設の内容としては、

「観光拠点」としては、オートキャンプ場、コテージ、バンガローのような宿泊施

設、登山者向けの駐車場、飲食室、簡易シャワー施設など。

「研修拠点」としては、筏津坑の整備、別子銅山に関する資料館の整備、住友企業や、小学生等を対象とした研修・学習施設。

「地域拠点」としては、別子山企業組合の事業拠点、地元製品の販売施設などのご意見をいただいている。

これらの地元の皆様からいただいた意見や、ヒアリング調査を実施して集約したご意見を基に、平成29年度に策定した「新居浜市観光振興計画」において、別子山地区の観光振興基本方針を定め、旧別子観光センター跡地については、「観光・登山・学習拠点エリア」として位置づけ、「産業遺産観光・学習」、「登山」、「飲食・物産販売」等の拠点としての機能強化を図ることとしている。

このようなことを踏まえ、平成30年4月に当該跡地の活用と再整備方針を検討する庁内組織として「新居浜市旧別子観光センター跡地再整備検討委員会」を設置し、現在協議を重ねている。

今年度の取り組みとしては、本検討委員会において、当該跡地を観光拠点として利活用するために必要な機能等を検討し、合わせて、平成31年度に開催される「東予東部圏域振興イベント えひめさんさん物語」に向けた、当該跡地の活用についても検討しており、先行して筏津坑の整備に着手する予定にしている。

なお、今年度中に跡地全体の再整備方針を決定してまいりたいと考えている。

また、別子山地域においても、跡地の検討部会を立ち上げ、案を取りまとめると聞いているので、まずは、庁内検討委員会の素案を8、9月くらいにはお示しし、それを基に検討していただきたいと思う。

今後の予定は、まず何を造るか決定した後、設計して、次の年度に事業着手となるので、最短で平成32年度からの事業着手となると想定している。

課題名（ 東赤石山登山道の補修計画について ）

質疑応答（要約）

（西部自治会）

登山口から約40分のところで、土砂崩れがあり通行が困難になっている。今後の補修計画について教えて欲しい。

（教育委員会事務局長）

昨年11月、登山道の一部が滑落しているとの報告を受けた。早速、修繕ができそうな事業者をあたったが、業務多忙等により、今回は受けることができないとの回答を頂いた。そこで、昨年12月、担当課職員4名が現地に向かい、迂回路の開設や簡易修繕を行い、登山ができる状況まで回復させた。

その後、東赤石山の登山客から、もう少し安全に登山できる環境にして欲しいとの

声を頂いたため、職員が現地に向かい、脚立を利用した梯子の設置やロープにスリッ
プ防止のための結び目を作るなどの整備を行った。

作業当日、山から下ってくる人や山へ登っていく数人に現地にて出会ったが、特に、
不平不満の声は聞いていない。

これまで、東赤石山登山道については、筏津赤石登山道管理業務の委託契約を締結
しており、簡易修繕をお願いしているところだ。

今回のような土砂崩れによる登山道の一部崩壊は、簡易修繕では限界もあることか
ら、引き続き、修繕ができる事業者を探すとともに、憧山会など登山道に詳しい皆様
のご意見も伺いながら、また、地域の方の知恵もお借りしながら、今後、登山道整備
に取り組んでまいりたいと考えている。

(質問)

県の補助金はないのか。

(市長)

登山道はどこが作って、誰が管理しているのかを調べなければならない。もう少し
検討する時間が欲しい。市が修繕するのか、県がするのか、地元ですることがあるの
か等検討する。

4. その他

課題名 (県道沿いの廃材の不法投棄について)

質疑応答 (要約)

(中部自治会)

県道新居浜別子山線沿いの2, 3箇所ところに、家を解体した際の廃材のような
ものが投棄されているので、対応をお願いしたい。

(石川市長)

現地を確認し、早急に対応したい。